



でんでんむし



6月になりました。まもなく梅雨入りですね。

あじさいがきれいに咲く季節となりました。天気が変わりやすいこの時期は、湿度が高く、しかも日によって寒暖の差もあり、体温調節がうまくできなくなるそうです。そのため、かぜをひきやすくなったり、だるさや疲労感を感じたり、さらには気分も沈みがちになりやすくなるなど、もっとも体調を崩しやすい時期でもあります。子どもの体調の変化に気を配っていきましょう。



☆曇りや雨の日も「熱中症対策」をお忘れなく！☆

体がまだ暑さに慣れていないこの時期、急な暑さや、梅雨時の蒸し暑さが、熱中症を引き起こします。気温がそれほど高くなくても、

湿度が高いと汗が出にくくなるため、油断はできません。お子さんの体調変化に気を配ってあげてくださいね。子どもは、何かに夢中になっているときや、楽しいときなどは、自分で体調の変化に気付けないこともあります。大人が目配ることが大事です。

<今の時期から気を付けたい熱中症対策>

- こまめな水分補給と、適切な塩分の補給。
- 通気性の良い衣服と、帽子の着用。
- 疲れを感じたら涼しい場所での休憩。

～ 子育て支援センター「でんでんむし」の6月のイベントから ～



「こどもの日」4日 この日は、新聞紙を使って「かぶと」を作り、家族で記念写真を撮りました。4世代で参加された方もあり、「思い出になった」と感謝の言葉をいただきました。今回作成したかぶりやすい立体的な「かぶと」は、吉岡先生のアイデアです。すばらしい！！

「子育て講話」24日(金) この日は、武雄市子育て総合支援センターのセンター長 吉牟田美代子先生を講師として、「子どものころはどこにいる」という演題でお話をいただきました。講話の中で「子どもは、みえないリュックを背負っている。その中に今日学んだ財産を詰め込んでいる。詰め込むための場、環境の準備が大切。親という仕事は尊い仕事。」がとても印象に残りました。最後のmonさんの“短い愛の歌”という曲に合わせてのリズムダンスは、“子育てのすばらしさ、尊さ”を実感し、思わず目頭が熱くなりました。参加された方からは「子どもの遊び一つ一つをしっかりと見つめてあげたい」「もっと目の前の子どもの姿を大切に、瞬間、瞬間を私も子どもも楽しみながら過ごしていきたい」「肩の荷がおりたように軽くなりました。先のことを考えている自分に気づき、今を大切にしようと思いました。」「先生のダンスは胸に響くものがあり、涙が止まりませんでした。今のこの子育ての時間がいかに尊くありがたいものか教わりました…」など、素晴らしい感想をいただきました。なお、この講座は多久ケーブルテレビでも放映予定です。吉牟田先生、ありがとうございました。



「ママといっしょクッキング」18日(木)
今回のメニューは、「きなこだま」。身近な食材を使って子どもと一緒に手軽に、おやつを作りました。安藤先生の説明の後、親子で一緒に作りました。水あめを熱湯で伸ばし、きなこを入れ、しゃもじでまぜまぜ…。最後に好みの大きさに切り、まるめ、おいしい“きなこだま”ができました。食材にはカルシウムがたっぷり。健康な骨・歯をつくり、ストレスの抑制効果もあるようです。たくさんの参加があり、「火を使わず、簡単で、実用的。子どももとても喜んだ。おいしい。」など、とても好評でした。終了後、佐賀女子短期大学の小島先生、松浦先生から、「食」に関するご助言をいただきました。



「はたけへGO！」(いも刺し) 31日 あんのう、紅あずま、金時の3種類のいも苗を植えました。全部で親子16組の参加がありました。どんどん大きくなって欲しいと思います。センターに来たときには水やりをお願いしますね。「でんでんむし」の前の植え込みにもいも刺しをしていますので、収穫の際にはみなさん、ご一緒に。



- 8日 ママカフェ
- 20日 おたんじょうびおめでとう
- 27日 子育て講座



内容:親子でいっしょにスタンプ遊び
講師:佐賀女子短期大学 准教授 大江登美子先生
☆連絡先:多久市児童センター内「子育て支援センター」☆
[Tel 0952-37-1117](みんな・いっしょに・いっしょ)